

思い出に残った大運動会

9月21日に秋季大運動会が開かれました。わたしが楽しみにしていたのは、4・5・6年生の「今日のご注文は？」という競技です。カードを引いて、それに書かれている内容をやってゴールします。「足にボールをはさんでゴールする」や「朝礼台の上で愛(夢)をさげぶ」「1年生と手をつないでスキップ」などいろいろありました。やる前、何が当たるかとてもドキドキしました。「朝礼台の上にカンを積む」のカードを見たときは、ラッキーと思いました。

もう一つ、心に残っているのは、親子リレーです。親などがいろいろな仮装をして走ります。あるお父さんは、全身黒で決めて、スパイのかっこうをしていて、とてもかっこよかったです。ぬいたりぬかれたりして最後は子どもチームが勝ちました。

地域の伝統を受け継ぐ「花とり」もおどっています。地域のお父さんがたいこをたたいてくれました。このおどりは地域が大切にしているものなので続けてほしいです。

この運動会は、わたしたち6年生にとっては、小学校最後の運動会でした。わたしの白組は負けてしまったけど、最後までがんばって力を出し切りました。いい運動会になりました。

(三浦小学校 6年 土居 茉里奈)



うそのような「大賞」受賞

田ノ口小学校では、私たちにとっても楽しみな取り組みがあります。それは、各学年単位で行う共同作品づくりです。私たち5年生は、2年生のときから始めてもう4回目になりました。今までに作った物は、「うんていで遊ぶ13名の仲間」や「地球を抱えた龍」、「ラックキョウの根切りの風景」などです。

今年は何を作ろうかと、みんなで考えを出し合って「入野の浜の風景」に決定しました。松原、Tシャツアート展とはだしまラソン、そして青い海です。どうしたら砂浜や松の葉、波を表現できるかいろいろな紙を使って試してみました。その結果、ふわふわ感が出たのがシレットターをつかった新聞紙や色画用紙でした。海や砂浜に使うと自分たちが描いていたイメージとぴったりで「やったあ」と喜び合いました。

紙粘土でサーフアーやランナーも作り完成です。いの町の「紙とあそぼう作品展」に出品すると、なんと「大賞」を受賞できました。

(田ノ口小学校 5年 松本 もも)



盛り上がった大運動会

9月28日、拳ノ川小学校では、学校・地域合同の大運動会が行われました。

今年も幼児、中学生、高校生、地域のおいちゃんやおばあちゃんなどもたくさん参加してくれ、運動会を盛り上げてくれました。運動会で、今年特に盛り上がったのは、一般の「あの鐘を鳴らすのはあなた」という種目でした。出場者はアイマスクを付けて、校庭の真ん中に置かれているハンドベルを目指して歩いていくという競技でした。みんなで「右、左、真つすぐ」などと言って、みんな楽しそうでした。

今年の運動会のテーマは、「全力、協力、団結力」でした。みんながそのテーマを意識して活やくできた運動会でした。

(拳ノ川小学校 6年 伊與木寛太・伊與木笑太・中川若菜・今西 蘭)

